あつもの

菊に魅せられ、人に惑わされ、やがて人生は静かな終焉を迎える。

【出演】
緒形拳 小島聖 ヨシ笈田 大楠道代 清水美砂 杉本哲太 田辺誠一 光石研 三谷昇 串田和美 中村嘉葎雄 財津一郎

1999年ベノデ国際映画祭グランプリ受賞／1999年モントリオール国際映画祭正式出品作品

池端俊策初監督作品

Autumn Blossoms

KEN OGATA HIJIRI KOJIMA YOSHI OIDA

Written and Directed by Shunsaku Ikehata / Executive Producers: Lee Bong-U , Masaya Nakamura , Mizue Kunizane / Producer: Shunji Ikehata / Director of Photography: Masao Tochizawa
Production Designer: Senkoku Iketani / Lighting: Tadaaki Shimada / Sound Mixer: Masatoshi Yokomizo / Editor: Tomoyo Oshima / Original Music: Taro Iwashiro / distributed by CINEQUANON

1999年・日本・カラー・ヴィスタサイズ・モノ・122分

ここに、菊の厚物（あつもの）を咲かせることだけに情熱を傾けて生きてきた二人の男がいる。
杢平は、寡黙に菊だけをじっと見続けてきた男。
黒瀬は世の中の恨みを菊に込め、したたかに生きてきた男だ。
もうひとり、生きる目的を見つけられないでいる女ミハルを交えて二人が出会い、
人生の秋の数日間に一瞬の勝負をかけた———。

孤独、愛憎、失望…、その果てにある、再生へと向かうエネルギー

『イエスの方舟』『約束の旅』『百年の男』など国内外多数の受賞作で、国際的にも評価の高い脚本家池端俊策が、長年温めてきた脚本をもとに初監督作を撮り上げた。池端俊策が常にこだわってきたのは、決して軽さだけでは描ききれない、生きるための背骨のようなもの。手に入れたはずの社会や個人の豊かさ、その引き替えの悲劇ともいえる希薄になった家族関係、人々の孤独の増幅…。それぞれのモチーフが決してひと事でないリアリティをもって迫ってくるなか、孤独や失望の中で織り成される人間模様はやがて、生きることへの力強い肯定を描き出していく。

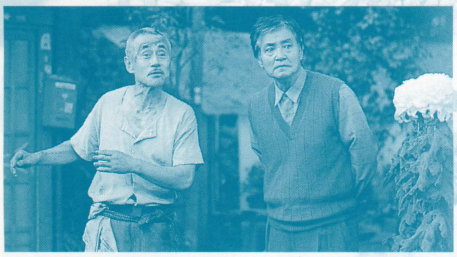
日本映画界が誇る役者・緒形拳、そして実力派同士の火花散る競演

平凡に人生を生きてきた杢平（もくへい）は、菊作りにおいては名人と呼ばれるほどの腕前を持っている。故郷を離れ息子夫婦の元へ身を寄せ、そこでかつて自分に菊の魅力を教えた黒瀬と再会した。そしてもう一人、生きる情熱を失っている音大生ミハルが現れ、杢平の周辺は俄にざわめき始める。もっとも美しい菊の花を咲かせることができるのは、果たして誰なのだろうか？

主演は日本映画界を代表する役者であり、池端作品の顔として、数十年に渡り脚本の裏側に隠された部分をも演じてきた緒形拳。そしてヨーロッパを拠点に役者及び演出家として活躍するヨシ笈田。世界に名高い実力派同士の競演に加え、ベテラン勢にひけをとらない堂々たる演技をみせた小島聖。ほか、豪華キャストがこの処女作に顔ぶれを連ねている。

強くしなやかに咲き、人を魅せ、惑わす菊の花

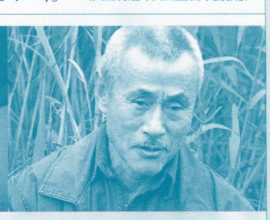
この映画のもう一方の主役は、満開の菊の花。あつもの（厚物）とは、大菊の中でも多弁でまり状に咲くものをいう。高貴な花として数々の意匠に用いられる一方、日本人にとっては馴染み深いのが菊であり、一度作ればその丹精に応える花としてどこまでも深みにはまるのが菊作りだ。厚物咲きの大群を目にした時、その豊麗、雄大な魅力が目に焼きついて離れなくなってしまうだろう。



菊にかける激しいパッション、一瞬の輝き——KEN OGATAに最大級の賛辞を贈る！……QUEST-FRANCE紙

まさに「魂の追求」というテーマそのものを描いた作品だ！……LE TELEGRAMME紙

「生きる」ことに固執するエネルギーこそが、バカバカしいほどに人間を愚かに、だけど愉しく、愛すべきものにさせていく。……杉田成道（映画監督『優駿』）



あつもの

池端俊策初監督作品

1999年ベノデ国際映画祭グランプリ受賞　1999年モントリオール国際映画祭正式出品作品

出演 緒形拳　小島聖　ヨシ笈田　大楠道代　清水美砂　杉本哲太　田辺誠一　光石研　三谷昇　串田和美　中村嘉葎雄　財津一郎

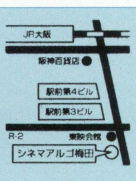
監督・脚本：池端俊策　製作：李鳳宇／中村雅哉／國實瑞惠　プロデューサー：池端俊二　撮影：栃沢正夫　美術：池谷仙克　照明：島田忠昭　録音：横溝正俊　編集：大島ともよ　衣裳：斉藤育子　ヘアメイク：小沼みどり　助監督：梅原紀且　制作担当：紺野生／清水啓太郎　音楽：岩代太郎　広告美術：井原靖章　広告写真：藤代冥砂　製作：シネカノン／日活／アンシャンテ　制作協力：ケイファクトリー　協力：社団法人全日本菊花連盟　宣伝協力：カマラド　1999年／日本／カラー／ヴィスタ／モノ／122分

芸術文化振興基金助成事業

11月中旬、満開のロードショー！

特別鑑賞券1500円（税込）好評発売中！
料金当日：一般1800円／大・高生1500円／中学生1300円／小・シニア1000円
劇場窓口および各プレイガイド、チケットぴあ、ローソンチケットにてお買い求め下さい。

シネマアルゴ梅田
東映会館南となり　06-6343-1691



http://www.t3.rim.or.jp/~c-quanon